

令和7年度

第4回 エコル検定

もんだいさっし 問題冊子

しょうがくせいむ
～小学生向け～

2026年2月7日（土）

11時00分開始 試験時間 60分

ちゅうい 注意

テストの受け方と約束

答え方：問題は4つです。正しい番号を1つ選んで書いてください。

禁止事項：おしゃべり、スマホの使用、カンニング、合図の前にはじめめることは「不正」です。不正をすると採点されません。

終了：11時15分を過ぎたら、終わることができます。終わりたい場合、手を挙げて教えてください。

忘れ物がないか確認してください。

結果発表：2月14日（土）に、ホームページで発表します。

大切なこと

名前と番号：指示があったら、机にある番号と自分の名前を正しく書きましょう。書いていないと採点できません。

お願い：この冊子は持って帰らないでください。また、勝手に中身をコピーして広めることも禁止です。

じゅけんばんごう 受験番号	なまえ 名前

1 エコルとごしの展示と取り組みについての（１）～（５）の問題に答えてください。

答えは5ページに書いてください。

（１）

エコルとごしは、電気をむだづかいしない工夫をしたり、自分で電気を作ったりして、使うエネルギーをへらすことで、東京にある公共の建物ではじめて「Nearly ZEB」という特別な認証をもらいました。この認証をもらうためには、建物が使うエネルギーを、ある決まった割合以上へらすことが必要です。では、その割合は何パーセント以上でしょうか。A～Dの中から正しいものを1つえらんでください。

- A) 25 % B) 50 % C) 75 % D) 100 %

（２）

エコルとごしは、地球にやさしい工夫をたくさん取り入れています。その工夫として正しいものを、A～Dの中から1つえらんでください。

- A) 熱が通りやすいガラスを使って、部屋が暑いときに外へ熱をにがしやすくしている。
B) 地面の中の熱（地中熱）を使って電気をつくり、建物の中で使っている。
C) 建物の形を四角にして、外からの熱のえいきょうをへらしている。
D) 屋上の太陽光パネルの角度を、いちばん電気を作る30度になっている。

（３）

エコルとごしでは、新しい技術だけでなく、昔からある知恵も使って、地球にやさしい建物をめざしています。公園側にある「ひさし」もそのひとつです。このひさは、夏の強い日差しが建物の中に入らないようにして、エアコンで使うエネルギーをへらす役わりをしています。では、このひさしの長さは何メートルでしょうか。A～Dの中から、いちばん近いものを1つえらんでください。

- A) 0.5 m B) 1 m C) 2 m D) 3 m

（４）

エコルとごしでは、資源を大切にするためのいろいろな取り組みをしています。その中で、まちがっているものを A～D の中から 1つえらんでください。

- A) 食べきれなかった食品をすてずに集めて、必要な人にわたす「フードドライブ」で、食べもののムダをへらしている。
B) 地下に 40,000 リットルの雨水をためられるタンクがあり、その水をトイレを流すときに使っている。
C) 3階のメッセージコーナーで使うカードは、バナナから作った紙や、古い紙を 100%使った紙など、環境にやさしいものを使っている。
D) 使わなくなった紙を集めて、館内で使うトイレトーパーに作りかえている。

(5)

エコルとごしでは、環境^{かんきよう}について知^しってもら^らうために、8月^{がつ}に「エコルキャンドルナイト」を
行^{おこな}っています。2023年^{ねん}は竹^{たけ}を、2024年^{ねん}と2025年^{ねん}はビン^{びん}を使^{つか}いました。
竹^{たけ}やビン^{びん}には、環境問題^{かんきようもんだい}や、それ^{それ}を解決^{かいけつ}するための取^とり組^ぐみがあります。
次^{つぎ}の A~D の文^{ぶん}のうち、正^{ただ}しいものを1つえらんでください。

- A) 竹^{たけ}は 60~120年^{ねん}に1回^{かい}しか花^{はな}が咲^さかないくらい増^ふえにくく、昔^{むかし}から守^{まも}られてきた。
- B) 竹^{たけ}の根^ねはとて^とも深^{ふか}くのびるので、土砂^{どしゃ}くずれをふせぐために昔^{むかし}からよく植^うえられてきた。
- C) ビン^{びん}には「リターナブルびん」と「ワンウェイびん」があり、リターナブルびんは主^{おも}に
リサイクル、ワンウェイびんは主^{おも}にリユースに使^{つか}われる。
- D) 古^{ふる}くな^なったビン^{びん}は回^{かい}収^{しゅう}されたあと、新^{あた}らしいビン^{びん}やアスファルト^{あすふらと}の材^{ざい}料^{りょう}になるので、ほかの
ゴミとまぜないことが大^{たい}切^{せつ}である。





1の答えはここに書いてください				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

②エコルとごしの常設展示は、「ジカン」をテーマに、わたしたちのくらしの中から環境について考えられるようになっていきます。エコルとごしの展示についての（１）～（９）の問題に答えてください。

答えは９ページに書いてください。

（１）

日本で売られている服の多くは、外国でたくさん作られて日本に運ばれてきたものですが、たくさん買ってすぐにすててしまうことがふえていて、環境問題になっています。環境への負担をへらすためには、「オーガニック」の服をえらぶことが大切です。オーガニックとは、自然にやさしい方法で作られたもののことで専用のマークが与えられます。そのマークとして正しいものを、Ａ～Ｄの中から１つえらんでください。

			
A	B	C	D

（２）

人は、食べ物や飲み物にまざったとても小さなマイクロプラスチックを知らないうちに食べてしまうことがあります。では、１週間でどれくらい食べてしまっていると言われていたのでしょうか。いちばん近いものをＡ～Ｄの中から１つえらんでください。

- A) １円玉１枚分
- B) 歯ブラシ１本分
- C) クレジットカード１枚分
- D) ペットボトルのキャップ１個分

（３）

日本では、食べ物の多くを外国から運んできているため、フード・マイレージという数字がとても大きくなっています。このフード・マイレージは、食べ物の重さと「ある数字」を使った、かけ算で計算します。では、その「ある数字」とは何でしょうか。Ａ～Ｄの中から１つえらんでください。

- A) 運ぶためにかかった時間
- B) 運ぶためにかかったお金
- C) 日本で作っている食べ物の割合
- D) 運んだ距離

(4)

品川区では、食べ物をムダにしないようにがんばっているお店を「食品ロスを減らすお店」として認める制度があります。この制度の名前として正しいものを、A～Dの中から1つえらんでください。

- A) しながわ食品ロス削減サポート店 B) しながわもったいない認定店
C) しながわもったいない推進店 D) しながわ食品ロス削減協力店

(5)

地球温暖化が進むと、気温が上がって暑く感じるだけでなく、いろいろな問題が起きる心配があります。地球温暖化によって起こると考えられていることの中で、まちがっているものを A～Dの中から1つえらんでください。

- A) 渡り鳥がやってくる時期の変化
B) 新しい感染症にかかる可能性が高くなること
C) 大雨がより強く降るようになること
D) スギ花粉が飛ぶ量が少なくなること

(6)

わたしたちの生活では、いろいろな乗り物を使って移動することができます。日本で使われている、次の4つの乗り物のうち、一人を1 km 運ぶときに、いちばん多く二酸化炭素を出すものを A～Dの中から1つえらんでください。

- A) 飛行機 B) 自動車 C) 電車 D) バス

(7)

トイレの電気便座の温度を「中」から「弱」に下げると、1年間で1つの家庭が出す二酸化炭素をどれくらい減らせると考えられているでしょうか。A～Dの中から、いちばん近い量を A～Dの中から1つえらんでください。

- A) サツマイモ 1本 (500 g)
B) 2 L ペットボトル 1本 (2 kg)
C) スイカ 1玉 (5 kg)
D) 大人の柴犬 1匹 (11 kg)

(8)

日本では、いろいろな方法で電気を作っています。次の A~D の文のうち、まちがっているものを1つえらんでください。

- A) 1950年代には、日本の電気のおよそ 80 % を水力発電で作っていたが、今ではおよそ 10 % になっている。
- B) 火力発電は、石油中心だったが、1980年代以降は石炭や液化天然ガス (LNG) が中心になった。
- C) 原子力発電は、2011年の東日本大震災後に多くが止まり、2018年の発電量は、およそ 6 % だった。
- D) 2012年から再生可能エネルギーがふえ、2015年以降は発電量の 30 % くらいになった。

(9)

日本では、1つの家庭が1か月に使う電気の量は、時代によって変わってきました。次の A~D の文のうち、まちがっているものを1つえらんでください。

- A) 1970年から2005年まで、1つの家庭が使う電気の量は、ずっと増え続けた。
- B) 電気の使用量は2005年がいちばん多く、そのあと減り始め、2015年には2005年よりも少なくなった。
- C) 1985年と2015年の1か月の電気の使い方をくらべると、2015年のほうが少なく、その理由は省エネ家電が広まったためである。
- D) 2011年の東日本大震災のあと、家庭で使う電気の量は減っており、節電しようという気持ちが強くなったことが影響していると考えられている。

2 ^{こた} の答えはここに ^か 書いてください		
(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)

3 近世界でとくに気をつけなければならない問題の一つに、地球温暖化があります。

地球温暖化についての(1)～(9)の問題に答えてください。

答えは12ページに書いてください。

(1)

地球温暖化の原因になる「温室効果ガス」は、1つの気体ではなく、いくつかの気体のことをさします。いちばん多く出されている温室効果ガスをA～Dの中から1つえらんでください。

- A) 二酸化炭素 (CO₂)
- B) メタン (CH₄)
- C) 亜酸化窒素 (N₂O)
- D) オゾン (O₃)

(2)

2025年の6月から8月までの日本の平均気温は、気象庁が1898年に記録をとり始めてから、いちばん高くなりました。では、この平均気温は、今までの年とくらべて何度高かったですでしょうか。A～Dの中から、いちばん近いものを1つえらんでください。

- A) 0.86℃ B) 1.36℃ C) 1.86℃ D) 2.36℃

(3)

近年、地球温暖化が進む中で、温室効果ガスの量がどう変わっているかが世界中で注目されています。2025年に、日本のまわりの空気にふくまれる二酸化炭素の量についての観測結果が発表されました。その結果として、正しいものをA～Dの中から1つえらんでください。

- A) 減っていている
- B) ほとんど変わっていない
- C) 増え続けている
- D) 大きく減った

(4)

2025年11月、ブラジルのベレンで、地球の気候変動について世界各国の代表が話し合う大きな会議が開かれました。この会議でとくに大事なテーマとしてあげられたものを、A～Dの中から1つえらんでください。

- A) 海に流れるプラスチックごみをへらすこと
- B) 温室効果ガスをへらす取り組みをもっと強くすること
- C) 森林火災をふせぐための対策
- D) 再生可能エネルギーを広めること

(5)

地球温暖化が進み、日本のあちこちで夏の気温がとて高くなっているため、お米の質が下がったり、収穫量が減ったりする心配があります。しかし、気温が上がったことを逆にチャンスとして、新しい農業に取りくもうとする動きもあります。お米を作る農家では、気温が高いことを「収穫できるチャンスがふえる」と考えて使う方法が注目されています。この取り組みとして正しいものを、A～Dの中から1つえらんでください。

- A) 田んぼを冷やすための装置をつける
- B) 再生二期作で、お米を年に2回収穫できるようにする
- C) お米の品種をかえて、暑さに強くする
- D) お米づくりをやめて、くだものづくりにかえる

(6)

近年、プラスチックごみを減らしたり、地球温暖化をふせいだりするために、使いすてのペットボトルのかわりに「マイボトル」を使うことがすすめられています。ペットボトルは作るとき、運ぶとき、すてるときに、たくさんの二酸化炭素を出しますが、マイボトルはくり返し使えるので、二酸化炭素を大きく減らせると言われています。

では、マイボトルを使い続けた場合、ペットボトルとくらべて二酸化炭素をどれくらい減らせるとされているでしょうか。A～Dの中から、正しいものを1つえらんでください。

- A) およそ10分の1まで減らせる
- B) ほとんど変わらない
- C) わずかに減る程度にとどまる
- D) 100回以上使わないと効果がない

(7)

近年、ごみをもう一度役立つものにする取り組みがふえています。その取り組みの一つに「アップサイクル」という方法があります。次のA～Dの文のうち、アップサイクルな行動にぴったり合うものを1つえらんでください。

- A) 古いTシャツを雑巾にする
- B) ガラスびんを集めて、新しいガラスびんにする
- C) 海でひろったプラスチックごみを加工してアクセサリーにする
- D) 古い紙を回収して、トイレットペーパーに作りかえる

(8)

ライチョウは国の特別天然記念物で、数が少なくなっているため、環境省を中心に守る活動が進められています。長野県の中央アルプスでは、2018年に1羽のメスが見つかったから、2025年には190羽まで増えてきました。では、ライチョウの数がへった理由として、まちがっているものを、A～Dの中から1つえらんでください。

- A) 森を開発したことで雪崩が増え、巣を作る場所がこわされた
- B) 温暖化で、肉食動物が山の高いところまで来るようになった
- C) 温暖化で、ライチョウのエサになる高山植物が減った
- D) 観光客が増えたことでストレスがかかり、親鳥が巣をすててしまった

(9)

「ブルーカーボン」とは、地球温暖化をふせぐために注目されている自然の仕組みの1つです。次のA～Dの中から、ブルーカーボンの正しい意味を1つえらんでください。

- A) 海の生き物が出す二酸化炭素のこと
- B) 海や海岸の植物が吸いこんでためる二酸化炭素のこと
- C) 青い色の炭素を使ったエネルギーのこと
- D) 空気中の酸素を増やすための人工の装置のこと

3の答えはここに書いてください		
(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)

4 次の(1)～(2)の問題に答えてください。
答えはこの13ページの下に書いてください。

(1)

レイチェル・カーソンが書いた本『沈黙の春』(1962年発行)は、現代の環境保護運動の出発点といわれています。この本では、「あるもの」が自然をよごしていることについて警告しています。その「あるもの」として正しいものを、A～Dの中から1つえらんでください。

- A) 放射性物質 B) 遺伝子操作 C) 農薬 D) マイクロプラスチック

(2)

2025年5月、「世界一貧しい大統領」として知られたウルグアイの元大統領、ホセ・ムヒカさんが亡くなりました。ムヒカさんが大統領だったころから、ウルグアイでは再生可能エネルギーを国の大きな方針として進めてきました。その結果、ウルグアイは世界でもとても高いレベルで再生可能エネルギーを使う国として注目されています。

では、最近のウルグアイでは、国全体で作られる電気のうち、どれくらいが再生可能エネルギーで作られているのでしょうか。A～Dの中から、もっとも近いものを1つえらんでください。

- A) 65 % B) 75 % C) 85 % D) 95 %

4 の答えはここに書いてください	
(1)	(2)

問題は以上です。